

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51100 農業委員会運営費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	農業振興地域整備計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	5	農林水産業費		ポイント										
	項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します				
	目	1	農業委員会費		施策分野	(1)	農業・林業・畜産業								
担当課	農政部 農務課	内線	2227												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良農地の保全と有効活用の観点から、農業委員会がより一層農地保全に資する客観的・中立的で公正な判断を行う。</li> <li>農業委員会の効率的かつ透明な組織運営を行う。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会の審議・活動の「見える化」推進</li> <li>農業委員会の総会の公開と、議事録の公表</li> <li>日常的な「農地パトロール」の実施</li> <li>遊休農地の発生防止と解消、違反転用の防止</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
担い手への農地集積率	49.3%		60.0%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		24,770	24,311	24,920			
特定財源	国費( )						
	県費( 農業委員会費 10/10、県移譲事務交付金 )	9,027	5,912	5,967			
	その他( 農業者年金業務雑入 )	1,000	1,450	1,450			
一般財源		14,743	16,949	17,503			
新規・拡充	主な事業内容						
	農業委員会委員報酬	6,407	6,407	6,407			
	農地利用最適化推進委員報酬	11,988	11,988	11,988			
	農業委員会委員報酬(地区委員)	1,950	1,950	1,980			
	委員1人1台タブレットによる現地調査の効率化	1,360	1,289	1,360			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
25,335	25,350	25,350	430	
8,330	8,372	8,372	2,405	
2,044	2,044	2,044	594	
14,961	14,934	14,934	△ 2,569	
査定額	説明			
6,407	19人			
11,988	45人			
1,960	196人			
1,360	端末通信費、端末管理(MDM)使用料等			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会の開催(12回)</li> <li>機関紙の発行(3回)</li> <li>農業委員、農地利用最適化推進委員合同によるブロック会議の開催(5ブロック×1回)</li> <li>県外視察研修の実施(東京都)</li> <li>管内視察研修(丹生川町)</li> <li>農業委員と市長との懇談会を開催</li> <li>農業委員、農地利用最適化推進委員会大会への参加</li> <li>農地の規模拡大や縮小に対する、農家意向アンケートを実施し、出し手と受け手のマッチングを推進</li> <li>行政に対して「意見書」を提出し、新年度事業の政策提言を実施(市1回、県1回)</li> <li>地域計画の策定に際して協議の場への参加と目標地図の素案を作成(10地域)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員と農地利用最適化推進委員が連携し、農家意向アンケートによる情報を基にした担い手への農地集積・集約化、農地のマッチングに向けた取り組みを行った。</li> <li>地域計画の策定に際して各地域や農家の意向を確認し、目標地図の素案を作成した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農地利用の最適化に向け、農業委員、農地利用最適化推進委員の連携した取り組みを進める。</li> <li>地域計画の目標地図の完成度を高めるため、農業委員や農地利用最適化推進委員が地域と連携して取り組む。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業委員会の運営に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51200 農業振興地域整備計画推進事業費			予算	会計	1 一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
	款	5 農林水産業費	ポイント									
	項	1 農業費	政策分野		5 産業・労働・プロモーション	分野別		市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します			
	目	2 農業総務費	施策分野		(1) 農業・林業・畜産業							
担当課	農政部 農務課	内線	2222									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業生産活動に必要な条件を備えた農業地域を保全形成する。</li> <li>各種団体との情報交換等による地域農業の振興を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興計画(農地利用計画)により、集团的優良農用地の確保に努めるとともに、農業者等地域の諸情勢の変化に対応できるように計画の変更等の管理を行う。</li> <li>飛騨農業振興会、飛騨地域農業再生協議会、飛騨エアパーク協会等事業推進</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	266.2億円		230億円
担い手への農地集積率	49.3%		60%
認定農業者数	532経営体		610経営体

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		13,902	13,185	6,601			
特定財源	国費( )						
	県費( 県移譲事務交付金 )	75	59	59			
	その他( )						
一般財源		13,827	13,126	6,542			
新規・拡充	主な事業内容						
	農業振興地域整備促進協議会委員及び農業経営基盤強化推進会議委員謝礼	340	120	340			
	農業振興地域農用地区域特定作業	7,700	7,260				
○ 1	飛騨地域農業再生協議会負担金	328	327	731			

\*下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		6,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
7,208	7,199	7,199	598	
30	60	60	1	
7,178	7,139	7,139	597	
査定額	説明			
320	促進協議会19人、推進会議24人			
1,409	アグリルックの導入			

\*入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進協議会を各1回開催した。</li> <li>局所的な災害が増加していることから、各種共済及び収入保険の加入促進に努めた。</li> <li>飛騨エアパークについては、関係機関とともに販路拡大事業等を実施し、今後のあり方についても検討した。</li> <li>農業振興地域整備計画基礎調査に基づき変更計画書(案)を作成した。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>水稲共済の引受面積は、令和5年度1,061ha(1,732戸)から令和6年度1,051ha(1,629戸)へと減少した。</li> <li>園芸施設共済の引受棟数は令和5年度11,384棟(504戸)から令和6年度11,678棟(519戸)と増加した。</li> <li>各種団体の活動目的はそれぞれ異なるものの、活動内容については事業効果を踏まえて見直す必要がある。</li> <li>基礎調査を踏まえた農業振興地域整備計画(案)について、農振促進協議会及び農業委員会への意見聴取、県への事前相談を実施した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>局所的な災害が増加していることから、各種共済及び収入保険の加入促進に努める。</li> <li>飛騨エアパークについては、今後のあり方の検討を継続する。</li> <li>基礎調査を踏まえた農業振興地域整備計画について、県協議及び変更案を策定する。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨農業振興会、飛騨地域農業再生協議会、飛騨エアパーク協会等事業推進に必要な経費を計上</li> <li>飛騨地域農業再生協議会で飛騨地域一体となって取り組むアグリルックの導入に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	51200 農業振興地域整備計画推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input checked="" type="checkbox"/> R8新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農務課
枝番・内容	1 飛騨地域農業再生協議会によるアグリルック導入事業		<input type="checkbox"/> R7拡充	<input type="checkbox"/> R8拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	農業費	内線	2222	
		<input type="checkbox"/>		目		2	農業総務費	作成年月	R8.2	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・アグリルック導入により、水稻における適正管理及び追肥や防除、刈取などの作業計画に活用し、日々の作業の効率化と省力化を進めるとともに、新規参加者の営農のハードルを下げること。	概要	・人工衛星と気象データ及びこれまでの飛騨地域での傾向データを活用したシステム(アグリルック)の導入及び生産者の利用により、生産者の水稻の適正管理につながり、飛騨米の品質向上及び生産量の増加に寄与する。
----	---	----	--

[参考] R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	678
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		678

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	アグリルック導入に伴う飛騨地域農業再生協議会への負担金の増
[スケジュール]	令和7年度～飛騨農業振興会で試験導入 令和8年度～飛騨地域農業再生協議会で本格導入

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51300 営農推進対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	5	農林水産業費		ポイント									
	項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します			
	目	3	農業振興費		施策分野	(1)	農業・林業・畜産業							
担当課	農政部	農務課	内線	2222										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>地域の中心となる農業経営体への農用地利用集積を促進し、経営規模の拡大・農業経営の安定を図るとともに、不作付地の解消を行う。 高山営農推進協議会が、各集落における水稻の現状の把握、問題点の整理、解決方法の検討、各種政策の推進及び研修を行うことで、地域農業の活性化を図る。</p>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域計画」の策定を通して、地域の中心となる農業経営体への農地集積や集約化を推進する。</li> <li>立地条件に合った水田の有効活用を促進する。</li> <li>農業経営体の育成及び強化を行うため講座や研修会を開催する。</li> <li>農業改良組合や営農推進協議会などの農業者団体との連携強化を図る。</li> </ul>
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	266.2億円		230億円
担い手への農地集積率	49.3%		60%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		56,491	45,072	19,785			
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( 経営所得安定化対策事業費 10/10、農地集積事業費 10/10 等 )	8,670	21,245	8,290			
	その他( 受託事業収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	100	13,961	3,240			
一般財源		47,721	9,866	8,255			
新規・拡充	主な事業内容						
	水稻病害虫共同防除に対する助成	1,300	1,096	1,300			
	農地集積協力者に対する助成	2,840	958	2,420			
	経営所得安定対策の推進活動に対する助成	7,030	6,068	6,070			
	新公設地方卸売市場における機能向上設備の導入支援	35,000	27,524				
	国際水準のGAP認証取得に対する助成			500			
	地域農業組織の基盤強化に対する助成	5,000	5,000	5,000			
	地域計画の策定・推進	1,100	605	270			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		18,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
17,928	17,915	17,915	△ 1,870	
7,065	7,070	7,070	△ 1,220	
203	203	7,203	3,963	
10,660	10,642	3,642	△ 4,613	
査定額		説明		
1,300				
1,200				
6,070		飛騨地域農業再生協議会への補助金		
5,000				
90				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>水稻損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(12団体、908ヘクタール)</li> <li>農地集積協力者への助成(19件、30.59ヘクタール)</li> <li>施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(2件、1.09ヘクタール)</li> <li>米の生産数量目標達成のための助成(1団体)</li> <li>米コンひだの開催</li> <li>地域計画の策定</li> <li>卸売業者への新市場における青果物等の一次加工等機能向上設備導入に対する助成</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の拡大を図った。</li> <li>米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により飼料用米等の新規需要米への作付け転換を推進し、水田の有効活用を図った。</li> <li>水稻病害虫共同防除事業補助金により、水稻損害防止のための共同防除を促進し、品質・収量の安定化を図った。</li> <li>地域での協議を経て「地域計画」を策定した。</li> <li>新市場の整備に伴い、卸売業者の販路拡大や経営力の維持向上に寄与した。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業の担い手(認定農業者)への農地利用集積を促進する。</li> <li>策定した地域計画の実現に向けた取組を進める。</li> <li>経営所得安定対策事業補助金等の活用により、水田の適地適品種の作付けや稲作の安定経営を図る。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・担い手への農地集積等に必要経費を計上
---------------------	---------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51305 農業体験施設等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	5	農林水産業費		ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり								
	項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション								
	目	3	農業振興費		分野別 施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します					
担当課	農政部	農務課	内線	2223											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市と農村との交流増加による地域の活性化</li> <li>・農業体験、自然体験を通じた子供たちの健全育成</li> <li>・生産、収穫などの農業体験を通じて、家族とのふれあいや地域の農業、農作物に対する理解を深める。</li> <li>・生きがいをもち、健康でゆとりのある生活の実現を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を活用し、農業体験、自然体験の場を提供する(栗野俣野外研修施設、すのまたふるさと学校体験学習施設、彦谷の里滞在型農園施設、おっぱら自然体験センター、荒城農業体験交流館)</li> <li>・市民ふれあいファミリー農園の提供(塩屋、下切)</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
新規就農者数(年間)	10名		30名

2.事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		43,416	41,208	44,724			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(市民農園使用料、農業施設使用雑入等)	827	663	767			
一般財源		42,589	40,545	43,957			
新規・拡充	主な事業内容						
	荒城農業体験交流館ほか4施設の管理運営(指定管理)	34,620	32,807	34,640			
	施設修繕	5,500	5,478	7,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	37,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
38,001	40,741	40,741	△ 3,983
773	767	767	0
37,228	39,974	39,974	△ 3,983
査定額	説明		
36,640			
1,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5施設の利用者数 11,714人 (すのまたふるさと学校 2,485人、栗野俣野外研修施設 1,336人、彦谷の里滞在型農園施設 1,936人、おっぱら自然体験センター 3,222人、荒城農業体験交流館 2,735人)</li> <li>・荒城農業小学校参加児童数 79人</li> <li>・市民農園利用区画数 塩屋農園 51区画、下切農園 36区画</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し、地域の活性化を図った。</li> <li>・広報たかやまやヒットFM、ホームページなどの媒介により利用者を広く募集する必要がある。</li> <li>・公共施設総合管理計画に基づく、施設の統廃合等を検討する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の場を提供し地域の活性化をめざす。</li> <li>・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理に努める。</li> <li>・広報たかやまやヒットFM、ホームページなどの媒体を活用し、利用者を広く募集する。</li> <li>・譲渡を予定している施設については、施設譲渡に向けての協議を進める。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験、自然体験施設等の適正な管理運営に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51310 農作物獣害防止対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	5	農林水産業費		ポイント										
	項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します				
	目	3	農業振興費		施策分野	(1)	農業・林業・畜産業								
担当課	農政部	農務課	内線	2223											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣被害に強い地域づくり、安定した農業経営及び農作物の生産を図ることにより、農業生産意欲の向上と耕作放棄地の発生を抑制する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ぐるみによる鳥獣被害防止対策の推進(研修会の開催促進、鳥獣侵入防止柵等の設置支援)</li> <li>狩猟者団体を中心に任命された鳥獣被害対策実施隊による安全かつ適正な有害鳥獣の捕獲</li> <li>農家等の狩猟免許取得を促進し、捕獲技術者の確保・育成を図る。</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
鳥獣による農作物被害面積(年間)	38.8ha		35ha

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		70,870	67,852	78,570			
特定財源	国費( )						
	県費(鳥獣被害防止対策事業費10/10、県移譲事務交付金)	15,024	13,992	20,429			
	その他( )						
一般財源		55,846	53,860	58,141			
新規・拡充	主な事業内容						
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(国県補助)	3,300	3,295	7,500			
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(市単独)	6,000	5,814	6,000			
	有害鳥獣の捕獲に対する報償金、ニホンジカの個体数調整	49,400	49,395	51,700			
	鳥獣被害対策実施隊員への報酬	6,950	6,152	6,950			
	鳥獣被害防止対策協議会に対する助成	1,200	592	1,800			
	捕獲技術者の育成	2,800	2,115	3,400			
○1	クマによる人身被害防止に係る体制等の整備						

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		81,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
81,368	81,625	81,625	3,055	
22,742	21,580	21,580	1,151	
58,626	60,045	60,045	1,904	
査定額	説明			
5,000				
6,000				
52,230				
8,950				
1,000				
3,400				
3,895				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>侵入防止柵の設置支援:実施箇所数:12箇所、受益面積:36.99ha</li> <li>鳥獣被害対策実施隊員数 290名(免許所持者:190名、補助者:100名)</li> <li>捕獲技術者育成 19名</li> <li>捕獲数量(有害) イノシシ:757頭、サル:101頭、ニホンジカ:1001頭、クマ:74頭、カラス:30羽</li> <li>狩猟捕獲特別報奨 イノシシ:22頭</li> <li>個体数調整捕獲 ニホンジカ 233頭、ニホンザル 2頭</li> <li>クマ出没による緊急出動報酬 9件18回</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲技術者育成により、捕獲従事者の技術継承が図られた。</li> <li>地域ぐるみで農地を守る取り組みを推進するため、捕獲体制作りを進める必要がある。</li> <li>クマの人家近くでの目撃情報も増えるなか、鳥獣被害対策実施隊への緊急出動報酬を創設し待遇改善に努めた。</li> <li>小動物の捕獲報償金を増額し、捕獲強化に努めた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲を含む地域ぐるみの鳥獣被害防止対策や、鳥獣の個体数管理等を総合的に、被害軽減を図る。</li> <li>法改正による緊急銃猟の実施に備えた体制整備を進める。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課	<ul style="list-style-type: none"> <li>獣害防止柵等の設置から捕獲技術者の育成、捕獲作業にかかる経費まで、総合的に鳥獣被害を防止するための経費を計上</li> <li>緊急銃猟制度の運用に必要な経費を計上</li> </ul>
-----	--

財務部査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>積算内容を精査</li> <li>緊急銃猟制度に係る消耗品、備品購入についてはR7年度に整備するため要求取り下げ</li> <li>クマ錯誤処分報酬に必要な経費を計上</li> </ul>
市長査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	51310 農作物獣害防止対策事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input type="checkbox"/> R8新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農務課
枝番・内容	1 クマによる人身被害防止に係る体制等の整備		<input type="checkbox"/> R7拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R8拡充		款	5	農林水産業費		
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	農業費	内線	2222	
		<input type="checkbox"/>		目		3	農業振興費	作成年月	R8.2	

事業の目的・概要(Plan)

目的	・クマの人家近くへの目撃の増加に伴う、人身被害防止に係る体制等の充実を図る	概要	・クマによる人身被害防止に必要な緊急銃猟出動に係る報酬の設定、技術者の育成に対する助成 ・市民への注意喚起チラシの作成等を実施
----	---------------------------------------	----	--

[参考] R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	3,895
主な経費	・報酬	
	・需用費	
	・補助金 など	
対前年度増減額(当初予算)		3,895

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
[スケジュール]	

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	クマによる人身被害防止に係る体制等の充実を図る ・緊急銃猟出動報酬の新設 ・緊急銃猟にかかる技術者の育成 ・クマ注意喚起チラシ作成 など
[スケジュール]	令和7年9月～緊急銃猟制度開始 令和8年度～体制等の充実

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51315 農業制度資金等利子補給事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	5	農林水産業費		ポイント									
	項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション		市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します				
	目	3	農業振興費		施策分野	(1)	農業・林業・畜産業							
担当課	農政部 農務課	内線	2224											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくすることで、農業経営の改善を図る。	概要	・農業経営基盤強化資金などの借入資金にかかる利子を補給(助成)する。
----	--	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		440	365	300			
特定財源	国費( )						
	県費( 農業経営基盤強化資金利子補給金 1/2 )	190	162	150			
	その他( )						
一般財源		250	203	150			
新規・拡充	主な事業内容						
	農業経営基盤強化資金利子補給金(債務負担)	390	325	300			
	新型コロナウイルス対策利子補給金	50	40				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		230
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
229	230	230	△ 70	
114	115	115	△ 35	
115	115	115	△ 35	
査定額		説明		
230				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	農業経営基盤強化資金利子補給 件数 15件 新型コロナウイルス対策利子補給 件数 3件
評価等	・借入れに伴い必要な利子補給を行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul> ・農業を行うために必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。 ・新型コロナウイルス対策利子補給は令和6年度を以て終了とする。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・農業経営改善の融資にかかる利子補給に必要な経費を計上
---------------------	-----------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51320 新規就農者等育成支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画		
	款	5	農林水産業費		ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり									
	項	1	農業費		分野別	政策分野	5		産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します					
	目	3	農業振興費			施策分野	(1)		農業・林業・畜産業							
担当課	農政部	農務課	内線	2224												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・次代を担う新規就農者及び農業後継者等の育成・定着を図り、地域農業を持続的に発展させる。	概要	・就農希望者を対象とした実践的な就農研修支援事業の実施 ・新規就農者等の農地賃借料に対する助成 ・農業後継者団体等に対する助成 ・認定新規就農者等の経営を安定させるために給付金等を給付
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
新規就農者数	10名		30名

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		54,240	42,153	59,180			
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( 青年就農者支援事業費 10/10、就農研修支援事業費 10/10 等 )	46,200	35,268	51,610			
	その他( 夢・まちづくり基金繰入金、飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	611	366	3,000			
一般財源		7,429	6,519	4,570			
新規・拡充	主な事業内容						
	新規就農者の経営規模拡大に対する助成	620	670	920			
	就農体感ツアー、就農移住相談会ほか	1,220	843	640			
	就農希望者に対する実践的な農業研修の支援	4,600	4,600	4,150			
	50歳未満の独立・自営就農者に対する助成	36,000	26,376	42,300			
	農業後継者に対する助成(農業後継者の経営参画等に対する助成)	10,000	8,000	10,000			
	農業後継者に対する助成(農業団体への活動に対する助成)	1,170	1,034	1,170			
	農業後継者の海外派遣研修に対する助成	630	630				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	54,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
51,260	47,520	52,520	△ 6,660
48,761	45,020	45,020	△ 6,590
		5,592	2,592
2,499	2,500	1,908	△ 2,662
査定額	説明		
680	新規就農者規模拡大事業補助金		
930			
3,150	農業研修生受入農家への謝礼		
41,630	新規就農者育成総合対策		
5,000			
1,130			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就農希望者の実践的就農研修の受入 12名</li> <li>・農業後継者組織の活動に対する助成 3団体</li> <li>・農業後継者就農給付金等による後継者就農等への支援 8名</li> <li>・新規就農者等への農地賃借料に対する助成 14名</li> <li>・青年就農者支援事業補助金による新規就農者等への支援 16件(次世代14件+初期投資2件)</li> <li>・農業後継者海外派遣に対する助成 2名</li> <li>・新規就農相談件数 75件</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就農希望者等が安心して農業に取り組めるよう継続的な支援やフォローアップ及び支援情報等の積極的な発信により、新規就農者等の確保及び農業への定着を図っていく必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者育成総合対策(経営開始資金)等の支援事業を積極的に活用し、新規就農者のフォローアップを図ることにより農業への定着に導く。</li> <li>・各種就農移住相談会の活用や農情サイト登録等により、高山市の支援情報を積極的に発信する。</li> <li>・就農につながる研修生を確保するため、新規就農者育成総合対策(就農準備資金)を活用し、就農前の不安定な環境を下支えする。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者、就農を目指す研修生などの支援に必要な経費を計上</li> <li>・農業後継者の経営参画等に対する助成について、県が補助制度を廃止</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・農業後継者の経営参画等に対する助成については、県の助成は廃止となるが、市の助成は継続実施とする</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51325 地域特産物振興助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
	款	5	農林水産業費		ポイント									
	項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション							
	目	3	農業振興費		分野別	(1)	農業・林業・畜産業							
担当課	農政部 農務課	内線	2223									市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します	

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色ある産地産品づくりを推進するため、特色ある農産物の掘り起しを行い、それらの生産者組織を支援することにより、地域特産物の生産拡大、高品質化、新商品開発等を促進し、地域の活性化を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各段階に応じた下記の取組みに要する経費に対し補助金を交付</li> <li>【ステップ1 発掘】 地域の特色を活かして取り組もうとする新たな農産物の選定、栽培技術の確立及び生産販売体系の構築等</li> <li>【ステップ2 育成】 地域の特色を活かした農産物の生産拡大や高品質化</li> <li>【ステップ3 振興】 地域の特色を活かした農産物を利用した新商品開発や販売促進活動</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		2,000	1,104	1,300			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( 夢・まちづくり基金繰入金 )		1,000	1,000			
一般財源		2,000	104	300			
新規・拡充	主な事業内容						
	地域特産物発掘(新たな農産物の選定、栽培技術・販売体系の確立への助成)	500	447	200			
	地域特産物育成(生産拡大や高品質化への助成)	1,500	657	700			
	地域特産物振興(新商品開発や販売促進活動への助成)			400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		1,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
1,000	1,000	1,000	△ 300	
		1,000	0	
1,000	1,000	0	△ 300	
査定額		説明		
400				
250				
350				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップ1(発掘) ひだものづくり(桃ボット栽培、2年目)</li> <li>・ステップ2(育成) 飛騨山椒生産者組合(山椒、2年目)</li> <li>久々野助果実出荷組合(りんご、2年目)</li> <li>むまやコーン生産組合(とうもろこし、1年目)</li> <li>国府なす研究会(なす、1年目)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関と連携して実施するとともに、生産量・販売量・試験栽培の状況等の検証を行い、事業の効果をあげるように取り組む必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同等の事業は規模や事業費が大きくないと該当しないため、新規の小さな取組の支援として継続が必要。</li> <li>・活用事業者の将来的な目標やニーズについてヒアリングを行い、より販路拡大や6次産業化につながる事業となるよう支援を継続する。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R7完了
- R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特色ある地場産品づくりを推進するために必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要求どおり</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51335 農業施設等整備費助成事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
	款	5	農林水産業費		ポイント								
	項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します		
	目	3	農業振興費		施策分野	(1)	農業・林業・畜産業						
担当課	農政部 農務課	内線	2226										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学合成農業や化学肥料の使用削減や品質及び生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に信頼される安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する。</li> <li>・新規就農者や意欲ある経営体等の育成・確保を図り、地域農業の持続的な発展に寄与する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全・安心・健康でブランド力のある売れる農産物づくりを推進するため必要となる機械・施設等の導入経費に対して助成する。</li> <li>・意欲ある多様な経営体が自ら計画する経営改善目標の達成に向け必要な農業用機械、施設等に支援することにより、農業経営体の経営の拡大や改善を図る。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		155,500	95,629	92,300			
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( 農業総合整備事業費 1/4、経営体育成支援事業費 3/10 等 )	114,700	61,540	55,100			
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )			2,000			
一般財源		40,800	34,089	35,200			
新規・拡充	主な事業内容						
	農業用設備等の導入整備に対する助成	79,100	69,497	83,900			
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成(旧強い農業・担い手づくり・農地利用効率化等支援)	10,400	6,871				
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成(担い手確保・経営強化支援)			3,400			
	中山間地域等担い手育成に対する助成	5,000	2,282				
	小規模農家等の営農継続に対する助成			5,000			
	農業用施設災害に対する助成	61,000	16,979				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		92,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
122,967	123,000	126,300	34,000	
80,952	81,000	84,300	29,200	
		35,000	33,000	
42,015	42,000	7,000	△ 28,200	
査定額		説明		
101,500				
9,500				
3,300				
7,000				
5,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業総合整備事業(雨よけハウス、機械導入等) 10団体 2経営体</li> <li>・強い農業・担い手づくりに対する助成(機械導入) 2経営体</li> <li>・中山間地域等担い手育成に対する助成(外国人労働者用トイレ整備等) 1経営体</li> <li>・震災による雨よけハウス復旧に対する助成 1団体 14経営体</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県や関係機関と連携し、それぞれの経営体の実情に合わせ、要望に基づいた補助を行い経営の安定を図った。</li> <li>・申請者の計画に基づいて適切に補助を行い労働環境の改善を図った。</li> <li>・大雪による農業用施設の被災に際し復旧支援を行った。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の精度を高め、個々の事業を精査し事業全体の推進に努める。</li> <li>・事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。</li> <li>・事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。</li> <li>・新規就農支援者相談や各種会議・会合等で事業内容を紹介し、アンケート調査等で要望量を把握し、事業推進に努める。</li> <li>・蔬菜と比較し、特に生産者数の減少スピードが早い水稲農家に対する支援を検討する。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業用設備等の導入経費及びハウスの機能向上等に対する助成に必要な経費を計上</li> <li>・小規模農家等の営農継続に対する助成に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・担い手確保・経営強化支援事業について、国・県の予算対応に合わせ必要な経費を計上</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51337 スマート農業導入事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画
	款	5	農林水産業費		ポイント								
	項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します		
	目	3	農業振興費		施策分野	(1)	農業・林業・畜産業						
担当課	農政部 農務課	内線	2224										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・高齢化等で農業の担い手が減少するなか、限られた労力で高い成果を上げられる環境づくりをすすめる。	概要	・ICTやAIなどの最新技術を利用した農業機械の導入に対する支援
----	--	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		6,000	3,588	9,000		
特定財源	国費( )					
	県費( スマート農業技術導入支援事業費 1/3 )	4,000	2,393	6,000		
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )			1,000		
一般財源		2,000	1,195	2,000		
新規・拡充	主な事業内容					
	ICTを活用した農業機械の導入に対する支援	6,000	3,588	9,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		9,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,000	9,000	9,000	0	
6,000	6,000	6,000	0	
		2,000	1,000	
3,000	3,000	1,000	△ 1,000	
査定額	説明			
9,000	スマート農業技術導入事業補助金			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・防除ドローン 3台 ・ラジコン草刈機 1台 ・水稲防草機 1台
評価等	・ICT・AI等のスマート農業技術機械導入により、省力化・労働力不足の解消に効果を発揮している。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・ICTやAIなどの最新技術を利用した農業機械の導入に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51340 地産地消推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画	
			款	5	農林水産業費			ポイント				
担当課	農政部 農務課	内線	2224	項	1	農業費	分野別	政策分野	5	産業・労働・プロモーション	市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します
				目	3	農業振興費		施策分野	(1)	農業・林業・畜産業		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で生産されたものを地域で消費する。</li> <li>生産者の顔がみえ、新鮮で安全安心な農畜産物が供給される。</li> <li>地域の農業と関連産業の活性化を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>地産地消に取り組む事業者の情報発信や消費者と生産者の連携を強化し、地産地消を推進する。</li> <li>市内の小中学校等大量調理施設において、地域農産物の利用促進を行う。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		5,551	4,280	5,300			
特定財源	国費( )						
	県費( 学校給食地産地消推進事業費 1/3 )	1,100	866	1,100			
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )			2,000			
一般財源		4,451	3,414	2,200			
新規・拡充	主な事業内容						
	生産者と食品関連事業者とのマッチングイベント等	1,151	551	900			
	学校給食での県内産米、小麦粉、野菜等の利用促進	4,400	3,729	4,400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		5,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,980	4,980	4,980	△ 320	
1,000	1,000	1,000	△ 100	
		2,000	0	
3,980	3,980	1,980	△ 220	
査定額	説明			
780	地産地消推進PR事業の実施			
4,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>飛騨をまるごと食べらかな月間における啓蒙事業の実施、手作り弁当の募集、小学校における食育講座、料理教室3回、農家ツアー1回、マルシェの開催、SNS等での情報発信等を行った。</li> <li>学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、小中学校の学校給食における地元産・県産農産物の積極的な活用を推進</li> <li>学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 61.2%</li> <li>公設地方卸売市場の取扱量に占める飛騨産食材の比率 12.1%</li> <li>地産地消の取り組みを発信する店舗・団体数 222件</li> <li>主要な直売所の年間販売額(16箇所) 567,652千円</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施により、農業者・商工業者・消費者等がコミュニケーションを図ることで、地域産業の活性化につながっている。</li> <li>地域農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取り組みを、地産地消推進会議と連携し、更に強化する必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域の農業と関連産業を結び付ける事業を展開する。</li> <li>より地産地消の取り組みが進む仕組みづくりについて、関係者との検討を進める。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R7完了
- R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校給食での地元農産物の利用推進及び地産地消推進事業を実施するために必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51350 環境保全型農業推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	産業振興計画、過疎地域持続的発展計画
	款	5	農林水産業費		ポイント								
	項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション			市長公約	強く！～自然と向き合い暮らす強さ～ 農林畜産業において最強の産地、産品を創出します		
	目	3	農業振興費		施策分野	(1)	農業・林業・畜産業						
担当課	農政部 農務課	内線	2225										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定の営農活動を支援し、環境保全型農業を推進する。</li> <li>みどりの食料システム戦略の実現に向けて、有機農業の取組面積の拡大を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>国、県と協調し、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う経営体に対して交付金による直接支援を行う。</li> <li>新たに有機農業への転換等を実施する農業者等に対して、有機農業の生産を開始するにあたり必要な経費を助成する。</li> </ul>
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む、年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,100	4,617	5,100			
特定財源	国費( )						
	県費( 環境保全型農業支援事業費 3/4、有機転換推進事業費 10/10 )	4,700	3,523	3,850			
	その他( )						
一般財源		1,400	1,094	1,250			
新規・拡充	主な事業内容						
	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する助成	5,600	4,375	5,000			
	有機農業への転換に対する助成	500	242	100			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		5,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,100	5,100	5,100	0	
3,850	3,850	3,850	0	
1,250	1,250	1,250	0	
査定額	説明			
5,000				
100	有機転換推進事業			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>国・県と連携し、環境保全型農業に取組む団体や経営体に対して交付金による直接支援を行った。(2団体1経営体 交付金面積7,144a)</li> <li>有機農業に取組む新規就農者に対して支援を行った。(1経営体 交付面積 121a)</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>国や県と連携し、環境保全型農業への取り組みを支援したことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。</li> <li>国の事業を活用し、有機農業に取組む団体や新規就農者を支援することで、みどりの食料システム戦略の実現に向けて推進することができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境保全型農業に取り組む農業者の環境への効果、活動のPRを支援しながら、さらなる推進を図る。</li> <li>国の事業を活用し、有機農業開始等の取組を支援する。</li> <li>R6年6月に飛騨地域農業再生協議会で策定した飛騨地域「みどりの戦略」アクションプランに基づき、関係機関と連携しながら、有機農業を推進する環境づくりについて検討していく。</li> </ul>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う経営体に対する支援に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51355 中山間地域等直接支払事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画	
					款	5	農林水産業費		ポイント					
					項	1	農業費		政策分野	5	産業・労働・プロモーション			
					目	3	農業振興費		施策分野	(1)	農業・林業・畜産業			
担当課	農政部 農務課	内線	2229										市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する。	概要	・中山間地域等の農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した農業者等に対して支援する。
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	266.2億円		230億円
担い手への農地集積率	49.3%		60.0%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		175,300	172,420	175,300		
特定財源	国費( )					
	県費( 中山間地域等直接支払事業費 2/3、3/4、10/10 )	131,200	128,800	131,200		
	その他( )					
一般財源		44,100	43,620	44,100		
新規・拡充	主な事業内容					
	中山間地域等直接支払事業に対する助成	175,100	172,319	175,100		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額	175,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
164,621	164,700	164,700	△ 10,600
122,989	123,050	123,050	△ 8,150
41,632	41,650	41,650	△ 2,450
査定額			説明
164,500			89協定

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定締結数 94協定</li> <li>・事業参加面積 1,246ha</li> <li>・第5期事業(R2～R6)の最終年度である事から、第5期事業参加集落の活動内容のとりまとめを行った。</li> <li>・第6期事業(R7～R11)の事業内容について、各組織への説明を行った。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産条件が不利となる中山間地域における持続的な農業活動や集落活動への支援を行い、対象農用地が適正に管理された。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul> <p>・R7年度から第6期事業が開始されることから、現在取り組んでいる協定集落に対しては継続していただくとともに、現在取り組んでいない集落に対しても事業の周知を行い、耕作放棄地の解消や予防を促進していく。</p>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・中山間地域等における持続的な営農活動、集落活動への支援に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	51360 耕作放棄地対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	2	地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	根拠計画	農業振興地域整備計画、過疎地域持続的発展計画		
					款	5	農林水産業費			ポイント	(2)	地域の元気を支える、未来の担い手づくり				
					項	1	農業費			政策分野	5	産業・労働・プロモーション				
					目	3	農業振興費			施策分野	(1)	農業・林業・畜産業				
担当課	農政部	農務課	内線	2227							市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～				

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>耕作放棄地を解消することで、農産物の生産供給のほか、農地による洪水防止など国土の保全を向上させ、農村環境や自然環境を維持する。</li> <li>地域の団体や企業が、耕作放棄地対策に取り組むことで、地域の振興と住民同士の連携体制を強化する。</li> </ul>	概要	耕作放棄地を解消しようとする団体や認定農業者による、農地を再生するための活動に対して支援する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
担い手への農地集積率	49.3%		60.0%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		6,500	6,099	5,200			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他( )						
一般財源		6,500	6,099	5,200			
新規・拡充	主な事業内容						
	耕作放棄地再生利用事業に対する助成	6,500	6,099	5,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		5,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,200	5,200	5,200	0	
5,200	5,200	5,200	0	
査定額	説明			
5,200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>高山地域 1件(0.35ha) トマトの作付け</li> <li>丹生川地域 1件(0.48ha) トマトの作付け</li> <li>久々野地域 1件(0.61ha) 果樹の作付け</li> <li>上宝地域 1件(0.22ha) そば、山菜の作付け</li> </ul> <p>合計 4件 1.66ha</p>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>制度の認知も進み、農地の再生や有効利用に活用されているが、耕作放棄地は依然として多い傾向にある。(耕作放棄地全体調査結果 R5:139ha ⇒ R6:134ha 5ha減)</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul> <p>事業が有効に活用されているが、耕作放棄地は発生し続けているため、引き続き新規就農者などを含めた多様な農業者に制度の活用を推進する。</p>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	耕作放棄地を解消しようとする団体や認定農業者等による、農地を再生するための活動に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	54100 農業土木施設整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画
	款	5	農林水産業費		ポイント								
	項	4	農業土木費		政策分野	5	農業・林業・畜産業			市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～		
	目	1	農業土木総務費		施策分野	(1)	特色を活かした生産地づくり						
担当課	農政部	農務課	内線	2229									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用排水路等の農業用施設の機能維持、機能回復または機能改良</li> <li>・豪雨時においてダムによる洪水調整を行い、下流域における市民の安全を確保し、生活施設、農業生産施設、農作物等の被害を防止する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用排水路等の農業用施設の修繕・改修整備、防災ダム・用水路を利用した小水力発電所の保守点検</li> </ul>
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		91,045	87,646	69,283			
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( 県移譲事務交付金、農業農村整備事業費 45/100 等 )	10,430	9,802	8,404			
	その他( 農業用施設改良事業費(市単事業) 10/100、敷地占用料 等 )	12,189	11,585	11,789			
一般財源		68,426	66,259	49,090			
新規・拡充	主な事業内容						
	防災ダムの維持管理	5,006	3,097	5,225			
	農業用施設工事 (用水路等工事 分担金あり)	22,400	25,703	18,400			
	農業用施設工事 (排水路等工事 分担金なし)	49,000	45,449	29,000			
	農業用施設修繕用原材料支給	5,000	4,547	5,000			
	小水力発電所の維持管理	4,990	4,247	6,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		99,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
94,383	82,334	82,334	13,051	
6,440	6,480	6,480	△ 1,924	
12,165	12,170	27,258	15,469	
75,778	63,684	48,596	△ 494	
査定額	説明			
6,106				
21,700				
17,700				
5,000				
6,540				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り)</li> <li>・荘川清流発電所 施設維持管理(発電機器・除塵機点検、維持管理)</li> <li>・農業用施設工事 (用水路等工事 分担金あり) 25件</li> <li>・農業用施設修繕工事 (排水路等工事 分担金なし) 32件</li> <li>・広域営農団地農道清掃</li> <li>・農業用施設修繕用原材料の支給</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ダムについては適正に施設点検・維持管理を行った。</li> <li>・小水力発電の運営に際し地元水路管理組合と円滑な流水確保を行った。</li> <li>・地域からの農業用施設修繕の提案に対し、老朽化した施設の修繕を行い長寿命化を図る事ができた。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ダム施設の適正な状態を保つために、定期的な保守点検・施設修繕・部品交換などを計画的に実施する。</li> <li>・小水力発電施設の適正な運営に向け、水路維持管理組合と流水確保を図るとともに定期的な保守点検を実施する。</li> <li>・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業用施設管理団体等との更なる調整をすすめる。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul>

担当課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ダム、小水力発電所の維持管理に必要な経費を計上</li> </ul>
予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した農業土木施設(用水・排水・農道)の改修に必要な経費を計上</li> <li>・用水機能を喪失した跨線橋の撤去に必要な経費を計上</li> </ul>

財務部査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> <li>・宮之前団地かんがい施設(ポンプ)設計については、適正化事業の活用のため54210土地改良事業費へ移行</li> </ul>
市長査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積算内容を精査</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	54120 農村環境多面的機能向上事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画	
					款	5	農林水産業費		ポイント					
					項	4	農業土木費		政策分野	5	農業・林業・畜産業			
					目	1	農業土木総務費		施策分野	(1)	特色を活かした生産地づくり			
担当課	農政部 農務課	内線	2229										市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・脆弱化しつつある地域共同活動を再構築し、農業用施設の保全(長寿命化)をするとともに、農村環境の保全など、地域農業の発展と農山村地域の活性化を図る。	概要	・各地域の活動組織と市との間で締結した「農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上に対する協定」に基づく取り組みに対し支援する。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		205,063	188,756	201,540			
特定財源	国費( )						
	県費( 農村環境多面的機能向上事業費 3/4、10/10 )	153,800	141,597	151,190			
	その他( )						
一般財源		51,263	47,159	50,350			
新規・拡充	主な事業内容						
	多面的機能支払事業補助金	204,943	188,636	201,400			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		201,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
202,340	202,130	202,130	590	
151,790	151,640	151,640	450	
50,550	50,490	50,490	140	
査定額	説明			
202,000	83組織			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・農業の水源かん養機能や洪水防止機能等の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援 82組織 2,814ha
評価等	・共同活動に対する支援を行い、農業用水路や農道等の農業用施設の質的向上及び長寿命化を図る事ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定 ・各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るために必要な事業であり、引き続き事業を実施していく。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・農業、農村の有する水源涵養や洪水防止機能などの維持・発揮のための地域活動に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	54200 県営土地改良事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画	
	款	5	農林水産業費		ポイント									
	項	4	農業土木費		政策分野	5	農業・林業・畜産業			市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～			
	目	2	土地改良費		施策分野	(1)	特色を活かした生産地づくり							
担当課	農政部 農務課	内線	2229											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業基盤である農地農道・用排水路等の整備を行い、農業経営の安定を図る。</li> <li>農道橋耐震補強や防災ダム・ため池等の補強を行い、防災対策を図る。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>県が事業主体となって農地農道・用排水路等の整備を行う。</li> <li>市と地元受益者は、整備にかかる事業費の一部を負担する。</li> </ul>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		134,980	114,746	139,430			
特定財源	国費( )						
	県費( 中山間地域農業基盤整備事業費 10/10 等 )			14,350			
	その他( 土地改良事業費分担金 )	20,488	13,501	20,326			
一般財源		114,492	101,245	104,754			
新規・拡充	主な事業内容						
	県営中山間地域総合整備	32,400	32,410	21,600			
	県営かんがい排水整備	33,780	21,584	39,930			
	県営土地改良事業	68,800	60,752	61,800			
	中山間地域総合整備事業の受益者分担金に対する補助			12,600			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	150,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
107,283	103,980	103,980	△ 35,450
17,733	17,730	17,730	3,380
24,492	23,392	23,392	3,066
65,058	62,858	62,858	△ 41,896
査定額			説明
28,500			南高山、荘川清見
36,750			中根、上野平、高原
17,000			菅沢、島橋、久々野防災
13,730			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>県営中山間地域総合整備事業 南高山地区 用水路工事、農道工事</li> <li>清見荘川地区 用排水路工事、用水路・ほ場整備測量設計</li> <li>県営かんがい排水事業 中根地区 用水施設工事</li> <li>長倉地区 用水路工事</li> <li>上野平地区 測量設計</li> <li>高原地区 測量設計</li> <li>県営土地改良事業 小屋名第2ため池 ため池防災対策工事</li> <li>菅沢ため池 測量設計</li> <li>小屋名橋 橋りょう耐震工事</li> <li>久々野防災ダム 防災ダム工事</li> <li>宮川防災ダム 通信線設置工事</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施地区における農業施設の長寿命化、及び防災減災対策を図る事ができた。</li> <li>県営事業の今後の実施について、事業の精査を充分に行う必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続事業について、県と調整し事業の精査を行い進捗させる。</li> <li>まち協や農業関係団体からの情報提供案件のうち、大規模改修が必要となる案件については、県と調整し計画的に事業を推進する。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した農業土木施設の大規模修繕、長寿命化を進めるために整備する県営事業に対し必要な経費を計上</li> <li>ため池や農道橋、防災ダム等の防災減災対策を進めるために整備する県営事業に対し必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>精算内容を精査</li> <li>山口地区県営かんがい排水整備事業については、県方針によりR7年度3月補正にて前倒し実施するため要求取下げ</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	54210 土地改良事業費			予算	会計	1 一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		根拠計画	過疎地域持続的発展計画
					款	5 農林水産業費		ポイント				
					項	4 農業土木費		政策分野	5 農業・林業・畜産業			
					目	2 土地改良費		施策分野	(1) 特色を活かした生産地づくり			
担当課	農政部 農務課	内線	2229					市長公約	農林畜産業において最強の産地、産品を創出します ～農林畜産業に携わるなら「飛騨高山で」の地位を確立～			

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。</li> <li>小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を交付することにより、農家の経費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。</li> </ul>	概要	土地改良事業を実施した地区において、その施設の長寿命化等を図る取り組みに対して支援する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
農業粗生産額(畜産含む)(年間)	266.2億円		230億円

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,475	19,721	13,370			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(土地改良施設維持管理適正化事業雑入、土地改良事業費分担金)	13,600	13,525	7,100			
一般財源		6,875	6,196	6,270			
新規・拡充	主な事業内容						
	土地改良施設維持管理適正化事業負担金	5,975	5,971	5,370			
	土地改良施設維持管理適正化工事	14,500	13,750	8,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額	24,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
12,952	24,430	24,430	11,060
5,723	5,720	5,720	△ 1,380
7,229	18,710	18,710	12,440
査定額			説明
5,230	負担金		
19,200	中切貯水槽、宮之前団地かんがい施設		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>大西揚水機場(加圧)ポンプ整備</li> <li>土地改良施設維持管理適正化事業負担金(債務負担)支払 9地区</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化したポンプ施設について、更新を行い施設の長寿命化を図ることができた。</li> <li>適正化事業の今後の実施について、引き続き十分に精査を行う必要がある。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地改良施設の長寿命化を図るため、引き続き県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。</li> </ul>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R7完了
- R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した土地改良施設の整備補修に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>精算内容を精査</li> <li>宮之前団地かんがい施設改修整備(ポンプ)について、適正化事業の活用に向けた設計に必要な経費を計上</li> </ul>
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>財務部査定のとおり</li> </ul>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	96230 過年農業施設災害復旧事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性		
	担当課	農政部 農務課	内線		2229	款	10		災害復旧費	ポイント		
						項	1		農林水産施設災害復旧費	政策分野		
						目	1		過年農業施設災害復旧費	施策分野		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・豪雨により被災した農地・農業用施設の災害復旧	概要	・農地・農業用施設の災害復旧
----	-------------------------	----	----------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		20,000	9,377	7,000			
特定財源	国費 ( )						
	県費 ( 農林水産施設災害復旧費補助金 50/100(農地)、65/100(施設) )	11,500	8,667	3,500			
	その他( 地方債、地元分担金 )	8,500	617	3,500			
一般財源		0	93	0			
新規・拡充	主な事業内容						
	災害復旧工事	20,000	9,377	7,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	-
53,000	53,000	53,000	46,000	
30,400	30,400	30,400	26,900	
22,600	22,600	22,600	19,100	
0	0	0	0	
査定額		説明		
53,000	債務負担			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・令和5年5月豪雨により被災した農地・農業用施設の災害復旧工事を完了した。 農地災害 11件 農業用施設 7件
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・農地・農業用施設の災害復旧費に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり